

最小の経費で最大の効果を...

# むらびくり

## 平成18年度当初予算

平成十八年度の村づくりがスタートしました。村では厳しい財政状況の中で、「最小の経費で最大の効果」をあげるよう、さまざまな事業に取り組んでいきます。

今年度は、一般会計が二十六億五千六百万円、特別会計が十五億九千四百九十五万三千円、総額四十二億五千九百九十五万三千円の予算になりました。昨年度に引き続き特別職の給料減額（村長二〇％、助役一〇％、教育長五％）や、職員給与の特別勤務手当全額カット、管理職手当二〇％カット、通勤手当（十六キロメートル上限）五〇％カット、住居手当の持家全額カット（借家は五〇％カット）、議員報酬の減額（一〇％）などによる人件費削減のほか、事務事業の見直しを一層進め、経費削減に努めていきます。

今月は平成十八年度当初予算のあらましをお知らせします。

特集 1



### 一般会計

#### 【歳入】

地方交付税が全体の5割に歳入（収入）のトップは、地方交付税（全国の自治体が一定の水準で事業が行えるように国から配分されるお金の十三億二千二百二十六万円で、歳入全体の四九・八％を占めています。前年度と比べ三千三百

五十九万七千円（二・五％）の減額となりました。自主財源（村が自分の手で確保できるお金）が乏しい本村にとって厳しい予算編成になりました。

一方、自主財源では、村税が二億四千五百七十九万九千円で、前年度と比べ三百二十四万八千円（一・四％）の増額となりました。これは村民税の個人の所得割額の増などによるもの

です。

#### 【歳出】

歳出・維持補修費が増加次に歳出予算を見てみましょう。目的別では民生費が五億四百八十三万一千円（一九・〇％）と最も大きく、次いで公債費の四億五百四十万四千円（一五・三％）、総務

費の三億五千九百二十九万八千円（二二・五％）、農林水産業費の三億四千七百六十八万九千円（二一・一％）、土木費の三億一千八百九十三万三千円（二二・〇％）と続いています。

また、性質別では人件費が七億三千九百二十八万四千円（二七・八％）と最も大きくなっていますが、前年度と比べて一千二百五十八万五千円（一・七％）の減額となっています。

千円（二五・三％）、補助費等の三億七千九百九十八万六千円（二四・三％）、普通建設事業費の三億三千七百九十五万六千円（二二・七％）の順に続いています。繰出金が、六千六百八十五万一千円（二八・九％）増えているのは、学校給食センター特別会計繰出金の増分や介護保険特別会計、国民健康保険特別会計（直診勘定）、老人保健特別会計への繰出金が増えたためです。

### 特別会計

#### 給食センター特別会計を新設

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で行うために、独立して設けた会計をいいます。

平成十八年度は、既存の国民健康保険（事業勘定・直診勘定）、老人保健、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設に加えて、学校給食センター運営のための学校給食センター特別会計を

新たに設けました。（従来、一般会計の中で措置していた学校給食センターの運営に係る予算を一般会計から切り離し、より一層の明確化を図ります。）

これら特別会計予算の総額は十五億九千四百九十五万三千円となり、前年度に比べ二億二千七百五十一万四千円（二五・八％）の増額となりました。このうち、老人保健特別会計が、前年度と比べ六千九百八十八万一千円（二五・三％）増えたのは、医療給付費の増によるものです。

### 会計別予算の状況

会計別	予算額	対前年度比	伸び率(%)
一般会計	26億5,600万円	△6,200万円	△2.3
特別会計	15億9,495万3千円	2億1,751万4千円	15.8
国民健康保険	4億2,200万円	△500万円	△1.2
事業勘定	8,360万円	730万円	9.6
直診勘定	5億2,525万6千円	6,980万1千円	15.3
老人保健	6,600万円	△580万円	△8.1
簡易水道事業	478万4千円	△271万6千円	△36.2
村営バス事業	3,439万6千円	△290万4千円	△7.8
集落排水事業	2億8,220万円	1,717万6千円	6.5
介護保険	3,367万7千円	△338万3千円	△9.1
交流施設	1億4,304万円	1億4,304万円	(新設)
学校給食センター	42億5,095万3千円	1億5,551万4千円	3.8
予算総額			

### 一般会計歳入予算の状況

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源	4億9,214万1千円	18.5	△967万円	△1.9
村税	2億4,570万9千円	9.3	334万8千円	1.4
繰入金	1億7,098万8千円	6.4	814万9千円	5.0
使用料及び手数料	3,466万1千円	1.3	70万5千円	2.1
繰越金	2,000万円	0.8	0円	0.0
その他①	2,078万3千円	0.7	△2,187万2千円	△51.3
依存財源	21億6,385万9千円	81.5	△5,233万円	△2.4
地方交付税	13億2,202万6千円	49.8	△3,359万7千円	△2.5
村債	2億9,600万円	11.1	△3,220万円	△9.8
国庫支出金	2億804万9千円	7.8	2,820万8千円	15.7
県支出金	2億53万4千円	7.6	△3,684万1千円	△15.5
その他②	1億3,725万円	5.2	2,210万円	19.2
計	26億5,600万円	100.0	△6,200万円	△2.3

※その他①=分担金及び負担金、財産収入、寄附金、諸収入/その他②=地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

### 一般会計目的別歳出予算の状況

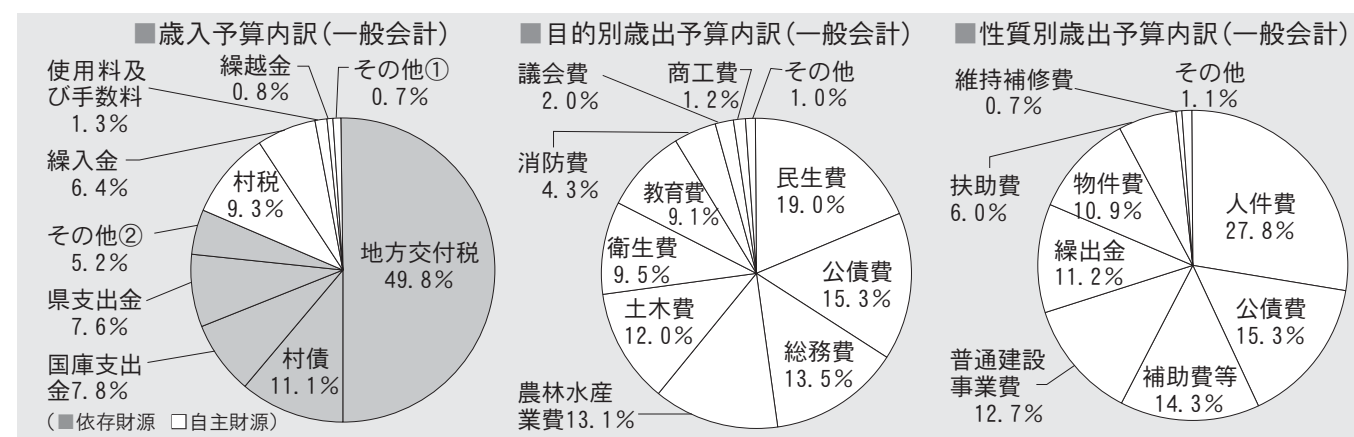
区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民生費	5億483万1千円	19.0	△698万2千円	△1.4
公債費	4億540万4千円	15.3	△926万4千円	△2.2
総務費	3億5,929万8千円	13.5	2,041万1千円	6.0
農林水産業費	3億4,768万9千円	13.1	△7,109万7千円	△17.0
土木費	3億1,893万3千円	12.0	8,624万8千円	37.1
衛生費	2億5,327万4千円	9.5	△1,277万5千円	△4.8
教育費	2億4,113万8千円	9.1	△4,441万円	△15.6
消防費	1億1,438万6千円	4.3	174万1千円	1.5
議会費	5,249万6千円	2.0	△410万9千円	△7.3
商工費	3,134万2千円	1.2	35万円	1.1
その他	2,720万9千円	1.0	△2,211万3千円	△44.8
計	26億5,600万円	100.0	△6,200万円	△2.3

※その他=労働費、災害復旧費、予備費

### 一般会計性質別歳出予算の状況

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	7億3,928万4千円	27.8	△1,258万円	△1.7
公債費	4億540万4千円	15.3	△926万4千円	△2.2
補助費等	3億7,996万円	14.3	△1,452万2千円	△3.7
普通建設事業費	3億3,795万6千円	12.7	△808万6千円	△2.3
繰出金	2億9,810万8千円	11.2	6,685万1千円	28.9
物件費	2億8,981万円	10.9	△5,598万5千円	△16.2
扶助費	1億5,863万6千円	6.0	△1,010万9千円	△6.0
維持補修費	1,879万7千円	0.7	578万8千円	44.5
その他	2,804万5千円	1.1	△2,409万3千円	△46.2
計	26億5,600万円	100.0	△6,200万円	△2.3

※その他=災害復旧費、投資及び出資金、貸付金、積立金、予備費



## 全会計総額 約42億5千万円

[対前年度比 1億5,551万円 (3.8%) 増]

**主な事業概要④**

＜農村の人づくりと産業ビジョン＞  
地域から世界を見ることが出来る人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現

**【学校教育の充実】**

- 鮫川中学校施設補修費（屋根屋根塗装工事）〔新規〕 105万円
- ふるさと後継者育成事業（中学生修学旅行助成） 126万円

**【健康づくり・自主的スポーツ活動】**

- ふくしま駅伝競走大会参加（練習・合宿など） 136万5千円
- トレーニングセンター修繕（屋根塗装工事） 357万円

**【安心安全、顔の見える農業の振興】**

- 中山間地域等直接支払交付金事業 1億2,532万2千円
- 水田農業条件整備事業（暗渠排水） 200万円
- 恵みの農地再生事業（草地更新） 233万2千円
- 肉用牛生産振興（輸送経費助成、ヘルパー助成） 105万円
- 畜産環境保全条件整備事業（3件） 620万2千円
- 優良牛整備増殖事業（優良牛購入費補助） 150万円

**【ふるさとの森を守り育てる】**

- 森林整備地域活動支援交付金事業（森林の維持・整備） 484万円
- 松くい虫防除事業（被害木伐倒駆除） 284万4千円

**【商工業の振興、雇用機会の確保】**


- 商工業振興事業（商工会補助など） 368万1千円

**【村の特徴を活かした観光の振興】**

- 観光推進事業（うまいもの祭り補助など） 258万円

**【その他】**

- 地籍調査事業（中山地区） 4,451万9千円



村営住宅渡瀬団地

**主な事業概要③**

＜農村の暮らしビジョン＞  
みんなが安心して生活できる村の実現

**【安心生活ができる公共交通づくり】**

- 生活バス路線運行費（福島交通バス運行補助金） 700万円

**【安心生活を支える情報】**

- 携帯電話不通話地域解消事業（携帯電話鉄塔設備設計）〔新規〕 1,000万円
- 高度情報化事業（白河広域ネットワーク負担金など） 956万9千円

**【多様な暮らしの工夫】**

- 公営住宅建設事業（渡瀬地区2棟4戸） 8,156万6千円

**【火災と災害への備え】**

- 常備消防負担金 8,175万4千円
- 消防施設整備事業（小型動力ポンプ更新ほか） 362万3千円

**【安心生活ができる保険・医療・福祉の充実】**

- 住民健康診査事業（基本健診、がん検診、C型肝炎ウイルス検診など） 1,775万3千円
- 予防接種事業（インフルエンザなど） 452万3千円

**【安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実】**

- 老人福祉施設（居住棟）実施設計委託 〔新規〕 314万4千円
- 施設入所福祉対策事業（老人保護措置費ほか） 1,471万2千円

**【子育て支援体制づくり】**

- 保育業務 1億2,473万8千円
- こどもセンター費（子育て支援事業、施設・バス運行管理費など） 2,229万1千円
- 乳幼児・妊産婦医療費助成 854万5千円
- 幼稚園児教育費 2,415万9千円

**【障害者の支援体制づくり】**

- 身体障害者施設訓練費、重度心身障害者医療費など 8,526万円

**【災害復旧】**

- 過年度公共土木施設災害復旧事業（河川1カ所）〔新規〕 1,847万9千円

**【その他】**


- 地方振興費（行政区補助など） 1,486万8千円

**主な事業概要②**

＜農村の環境ビジョン＞  
自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現

**【道路網・道路環境の整備】**

- 村道寅卯平富田線改良舗装事業（地方道路交付金事業） 2億178万7千円
- 県営農道整備事業負担金（東白川広域農道・東野中部農免農道） 2,213万4千円



村道寅卯平富田線改良舗装事業

**【水を大切にし、環境に配慮した排水の処理】**

- 合併処理浄化槽整備事業（7人槽20基） 1,200万円

**【その他】**

- 東白衛生組合・東白斎苑運営費負担金 7,169万9千円

**平成18年度予算編成方針**

三位一体改革により、国庫補助負担金や地方交付税の削減が推し進められる中、介護保険制度の見直しや医療保険制度、福祉制度の改革による歳出の増加が見込まれ、財政状況の見直しは非常に厳しいものがあります。

このような財政的に厳しい状況の中ではありますが、自立の村づくりを選択した村民の願いに応えるため、地域の資源を活かした産業の振興、村の未来を担う人材の育成、村民みんなが生きがいをもち、安心して暮らしていける村づくりを実現していかなければなりません。

すべての事務事業を見直し、必要性、緊急性、効率性を再点検し、最小の経費で最大の効果を上げるよう職員一人ひとりが創意と工夫を凝らし、村民一人ひとりがいきいきと輝きながら暮らしていける村を築いていくための諸施策を進めることを基本方針とします。

鮫川村長 大樂 勝弘

**主な事業概要①**

＜農村の再生ビジョン＞  
独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現

**【環境と健康を食べる】**

- 農産物加工直売事業（施設管理・運営費補助）〔新規〕 454万4千円
- 産地づくり対策事業（環境にやさしい米づくり事業、飼料作物生産拡大対策事業など） 190万1千円
- 大豆振興対策事業（料理コンクール、大豆種子購入費） 273万8千円

**【農村の景観と文化を生かす】**

- ふるさと緑の協力隊事業（NPOを活用した農作業などの援助） 123万3千円

村民1人当たりに使われるお金は  
**591,932円（△1,000円）**です。

一般会計歳出予算額÷平成18年3月1日現在の人口4,487人で計算。〔 〕内は対前年比。平成17年度は平成17年3月1日現在の人口4,584人で計算。〕

民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	112,510円 (858円)
公債費	地方債(村の借入金)を返済するためのお金	90,351円 (△109円)
総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	80,075円 (6,147円)
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	77,488円 (△13,870円)
土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	71,079円 (20,319円)
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	56,446円 (△1,593円)
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	53,741円 (△8,551円)
消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	25,493円 (919円)
議会費	村議会運営のためのお金	11,700円 (△648円)
その他	商工業の振興、災害復旧などのためのお金	13,049円 (△4,472円)